2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名　堀田丸正株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8105　URL https://www.hotta-marusho.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 上杉　隼士
問合せ先責任者　(役職名) 管理部長　(氏名) 矢部　和秀　TEL 03-6824-9481

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	731	△6.8	△90	―	△71	―	△73	―
2025年3月期第1四半期	784	△17.8	△75	―	△53	―	△56	―

(注) 包括利益　2026年3月期第1四半期　△81百万円　(―%)　2025年3月期第1四半期　△46百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△1.31	―
2025年3月期第1四半期	△1.01	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	3,249	2,593	79.8	46.11
2025年3月期	3,330	2,675	80.3	47.57

(参考) 自己資本　2026年3月期第1四半期　2,593百万円　2025年3月期　2,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年3月期	―				
2026年3月期(予想)		―	―	―	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

※2026年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	16.2	2	―	40	―	30	―	0.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	59,640,348 株	2025年3月期	59,640,348 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,396,007 株	2025年3月期	3,396,007 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	56,244,341 株	2025年3月期1Q	56,244,441 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げに伴う所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド消費の拡大などにより、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、物価上昇の継続や為替相場の変動、米国の関税政策による世界経済の減速等が国内景気の下押しリスクとして懸念される状況となり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは前期に構造改革を実施し、不採算事業から撤退するとともに、中長期的な価値創造を見据えた事業に経営資源を集中し、成長基盤の構築を進めてまいりました。構造改革によるコスト削減の効果はあったものの、全セグメントにおいて減収、また、円安等による仕入コストの上昇や物流コストの上昇なども影響し全社において減収減益となりました。

この結果、売上高は７億31百万円（前年同期比6.8％減）、営業損失は90百万円（前年同期は営業損失75百万円）、経常損失は71百万円（前年同期は経常損失53百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は73百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失56百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（きもの事業）

専門店事業は、新規催事企画の推進、新商品の販売等新たな取り組みが成果を得ましたが、前期の大型倒産による影響分はカバー出来ず減収減益、百貨店事業は、百貨店単独売場化を推進し、第１四半期においては一定の成果はあったものの、販売コストが重みとなり減収減益となりました。

この結果、売上高は１億59百万円（前年同期比6.7％減）、営業損失は29百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

（ライフスタイル事業）

ヘルスケア部門において、大口取引先からの受注が軟調に推移し減収減益となりましたが、コスト削減効果により営業損失は前年並みとなりました。

この結果、売上高は８百万円（前年同期比15.6％減）、営業損失は２百万円（前年同期は営業損失２百万円）となりました。

（ファッション事業）

ジュニア部門は、円安による原価高が影響しましたが、収益性を鑑みた取引先の選択と集中により増収増益、ホームファッション部門は、コスト削減と円安進行による原価高を吸収できず減収増益、ミセス部門の卸事業は、PB品の受注が好調に推移しましたが、催事販売は開催数の減少が影響し減収、SHOP事業は、前期での出店により増収となりましたが、販売コストが重みとなり減益、ファッション事業全体で減収減益となりました。

この結果、売上高は３億53百万円（前年同期比4.6％減）、営業損失は４百万円（前年同期は営業利益１百万円）となりました。

（マテリアル事業）

国内事業は、国内アパレルメーカーからの受注減により減収、上海事業は、中国内需の取引は引き続き厳しい状況にありましたが、国内事業との連携により日本への販売が好調に推移し増益となりました。国内事業及び上海事業ともにコストの大幅削減を行ったことにより営業利益は改善いたしました。

この結果、売上高は２億６百万円（前年同期比10.2％減）、営業損失は11百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は30億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が52百万円増加したものの、現金及び預金が１億17百万円減少したことによるものであります。固定資産は２億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産が10百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は32億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は６億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ０百万円減少いたしました。固定負債は28百万円となり、前連結会計年度末に比べ０百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は６億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ０百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は25億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.8％（前連結会計年度末は80.3％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年３月期の業績予想につきましては、2025年５月15日公表の業績予想から変更はありません。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失３億55百万円及び経常損失３億円、親会社株主に帰属する当期純損失４億７百万円を計上する結果となりました。当社グループの業績は、前連結会計年度まで７期連続で営業損失、経常損失を計上しております。そのため過去の業績も考慮し、継続企業の前提に関する注記を開示するまでに至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当期の利益計画において、連結営業利益の黒字化を見込んでいるとともに、保有現預金から資金計画上、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	474,747	357,100
受取手形、売掛金及び契約資産	399,529	371,549
電子記録債権	107,644	118,303
商品及び製品	937,763	990,315
原材料及び貯蔵品	43,002	47,120
短期貸付金	1,110,000	1,100,000
その他	50,770	43,914
貸倒引当金	△10,935	△10,880
流動資産合計	3,112,522	3,017,422
固定資産		
有形固定資産	117,107	119,827
無形固定資産	－	468
投資その他の資産		
その他	184,846	197,274
貸倒引当金	△84,311	△85,915
投資その他の資産合計	100,535	111,358
固定資産合計	217,642	231,655
資産合計	3,330,164	3,249,077
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	280,779	282,240
電子記録債務	210,055	230,022
未払法人税等	8,126	3,371
その他	128,344	111,589
流動負債合計	627,305	627,224
固定負債		
資産除去債務	9,899	9,914
その他	17,568	18,522
固定負債合計	27,467	28,437
負債合計	654,773	655,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,236,690	3,236,690
利益剰余金	△359,519	△433,385
自己株式	△389,580	△389,580
株主資本合計	2,587,590	2,513,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,650	10,455
為替換算調整勘定	79,150	69,235
その他の包括利益累計額合計	87,800	79,691
純資産合計	2,675,391	2,593,415
負債純資産合計	3,330,164	3,249,077

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
売上高	784,826	731,321
売上原価	518,196	486,360
売上総利益	266,629	244,961
販売費及び一般管理費	342,464	335,916
営業損失（△）	△75,834	△90,955
営業外収益		
受取利息	19,419	16,876
受取配当金	859	959
為替差益	1,670	670
その他	762	1,991
営業外収益合計	22,711	20,497
営業外費用		
支払利息	48	－
支払手数料	－	1,377
その他	4	－
営業外費用合計	52	1,377
経常損失（△）	△53,175	△71,834
税金等調整前四半期純損失（△）	△53,175	△71,834
法人税、住民税及び事業税	3,371	2,031
法人税等合計	3,371	2,031
四半期純損失（△）	△56,547	△73,866
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△56,547	△73,866

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
四半期純損失（△）	△56,547	△73,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,835	1,805
為替換算調整勘定	12,017	△9,915
その他の包括利益合計	10,182	△8,109
四半期包括利益	△46,365	△81,976
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,365	△81,976

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
減価償却費	2,011千円	3,683千円

（注）のれんの償却額はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	171,399	10,094	370,408	230,204	782,107	2,719	784,826	－	784,826
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	171,399	10,094	370,408	230,204	782,107	2,719	784,826	－	784,826
セグメント利益（又はセグメント損失（△））	△10,690	△2,005	1,412	△12,048	△23,332	314	△23,017	△52,817	△75,834

（注）１．「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

２．セグメント利益の調整額△52,817千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	159,852	8,518	353,403	206,819	728,593	2,728	731,321	－	731,321
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	159,852	8,518	353,403	206,819	728,593	2,728	731,321	－	731,321
セグメント利益（又はセグメント損失（△））	△29,389	△2,631	△4,294	△11,165	△47,479	2,100	△45,379	△45,575	△90,955

（注）１．「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

２．セグメント利益の調整額△45,575千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。